

2020年3月31日
早稲田大学人間科学部

**2022年度以降人間科学部公募制学校推薦入試（FACT選抜）
出願資格の変更について**

2022年度人間科学部公募制学校推薦入試（FACT選抜）より、下記の通り出願資格A（国内者向け）の出願要件の一部を変更します。受験を検討される方は、以下の変更を十分に確認し準備をしてください。

記

1. 変更内容（下線部は変更部分）

2021年度（出願資格Aより抜粋）	2022年度以降
高等学校または中等教育学校後期課程の1年1学期または前期から3年（4年制定時制は4年）1学期または前期までの調査書記載の「全体の評定平均値」が3.9以上（小数点以下第2位を四捨五入）の者で、「理科」および「国語」のそれぞれ3科目以上を履修し、「理科」および「国語」で履修したすべての科目を合わせた評定平均値が4.3以上（小数点以下第2位を四捨五入）の者。	高等学校または中等教育学校後期課程の1年1学期または前期から3年（4年制定時制は4年）1学期または前期までの調査書記載の「全体の評定平均値」が3.9以上（小数点以下第2位を四捨五入）の者で、「理科」の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から3科目以上（ただし、「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目以上の履修を必須とする）および「国語」の3科目以上を履修し、「理科」および「国語」で履修したすべての科目を合わせた評定平均値が4.1以上（小数点以下第2位を四捨五入）の者。加えて、「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」をすべて履修している者。

2. 変更後の2022年度出願資格全文

出願資格A（国内者向け）

以下1～4のすべて、および5または6のいずれかの要件を満たしていることを必須とします。1つでも欠ける場合は出願を受理しません。

1. 学校長が推薦する者で、当学部への入学を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者
2. 2022年3月に高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者。ただし、文部科学省の認める在外教育施設（日本の高等学校に相当する）^{注1}を2021年4月1日以降に卒業した者、および2022年3月に卒業見込みの者も含む。
3. 高等学校または中等教育学校後期課程の1年1学期または前期から3年（4年制定時制は4年）1学期または前期までの調査書記載の「全体の評定平均値」が3.9以上（小数点以下第2位を四捨五入）の者で、「理科」の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から3科目以上（ただし、「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目以上の履修を必須とする）および「国語」の3科目以上を履修し、「理科」および「国語」で履修したすべての科目を合わせた評定平均値が4.1以上（小数点以下第2位を四捨五入）の者。加えて、「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」をすべて履修している者。^{注2 注3 注4}
4. 高等学校または中等教育学校後期課程の1年1学期または前期から3年（4年制定時制は4年）1学期または前期までの調査書記載の「欠席日数」が40日以内である者

以下 5 または 6 のいずれかを満たすこと

5. 学部の指定する外国語資格・検定試験^{注5}のいずれか1つのスコア、結果を提出できる者
6. 国際バカロレア資格を取得見込みの者^{注6}
※出願時にはIB Predicted Scoreを提出してください。

注1：海外において主に日本人を対象に日本の教育制度を実施している文部科学大臣認定等在外教育施設（高等部を設置するもの）を指します。日本の教育制度に基づく高等学校または中等教育学校からの志願者で、在学中の留学により卒業期が繰り下がり、2021年度内の卒業となった者を含みます。

注2：所属している学校のカリキュラムによって、「理科」や「国語」に相当する科目を独自の科目名称により履修している場合など、調査書記載の科目数が「『理科』のうち所定の科目および『国語』のそれぞれ3科目以上」に不足することがあります。出願資格、調査書の記載について出願要件を満たすかどうか不明な場合には、出願前に所沢総合事務センター人間科学部入試担当までお問い合わせください。

注3：スーパーサイエンスハイスクール（SSH）やスーパーグローバルハイスクール（SGH）など、独自の理数系科目に重点をおいたカリキュラムにおいて、数学および理科の内容に相当する、もしくは、それ以上に高度な内容をカリキュラム独自の科目名称により履修している場合、または、「理系数学」「理系物理」「理系化学」「理系生物」など発展的な内容を履修している場合は、その科目を数学・理科に振り替えても支障ありません。ただし、いずれの場合も、「高校独自の科目名」と「その科目に相当する数学・理科の科目名」との関係等を明記した説明資料を必ず作成してください。併せて、カリキュラム・授業内容等を補足的に説明する根拠資料（例：授業で扱う範囲や単位数が記載されているシラバスなど）の提出を必須とします。

注4：高等学校または中等教育学校後期課程の在籍期間内において1学年以上海外留学したことにより、「理科」および「国語」について調査書記載の科目数が「『理科』のうち所定の科目および『国語』のそれぞれ3科目以上」に不足する場合は、当学部において個別の出願資格審査を実施します。ただし、「全体の評定平均値が3.9以上の者で、『理科』および『国語』で履修したすべての科目を合わせた評定平均値が4.1以上」の要件を満たす場合に限り申請する場合は、所沢総合事務センター人間科学部入試担当までお問い合わせください。個別の出願資格審査の判定には時間を要するため、別途入試要項で案内する指定期日以降の問い合わせには対応しません。また、申請内容によっては出願を認めない場合があります。

注5：学部が指定する外国語資格・検定試験は以下のとおりです。これら以外は原則認めません。入学日（2022年4月1日）から遡って2年以内に受験したスコア、結果を有効とし、基準は設けません。出願期間までに提出できる試験結果の証明書類のみを有効とします。出願後の提出および差替えは認めませんのでご注意ください。複数の外国語検定試験のスコア、結果を有する場合は、いずれか1つを自身で選択のうえ提出してください。

TOEIC® Listening & Reading Test	TOEFL® iBT	IELTS (Academic Module)
GTEC (Advanced/CBT)	TEAP (技能パターンは問わない)	実用英語技能検定試験 (英検)
ドイツ語技能検定試験	ゲーテ・ドイツ語検定試験	実用フランス語検定試験
DELFDALF (フランス国民教育省認定フランス語資格試験)	実用中国語検定試験	HSK (中国語検定)
スペイン語技能検定	DELE (スペイン語検定試験)	

注6：学校教育法の第1条に規定されているIBプログラムを実施している教育施設在籍者を対象とします。学校教育法の第1条に規定されているIBプログラムを実施している教育施設在籍者が出願する場合、出願資格3.に記載している科目の数が不足する場合があります。学校側のカリキュラム、授業内容等を確認しますので、出願前に必ず所沢総合事務センター人間科学部入試担当までお問い合わせください。

出願資格B (帰国生向け)

以下1～6のすべての要件を満たしていることを必須とします。

1つでも欠ける場合は出願を受理しません。

1. 当学部への入学を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者^{注1}
2. 次の(a)(b)いずれかの要件を満たす者
 - (a) 日本国籍を有する者
 - (b) 「出入国管理及び難民認定法の別表第二」に掲げる者
3. 次の(a)(b)いずれかの要件を満たす者
 - (a) 出願時に日本の教育制度以外の課程にて教育を実施する日本国外所在の中等教育機関に在籍し、2022年3月31日までに卒業(修了)見込の者^{注2}
 - (b) 日本の教育制度以外の課程にて教育を実施する日本国外所在の中等教育機関を卒業(修了)し、かつ出願時に卒業(修了)後1年以内の者
4. 日本国外所在の中等教育機関において、最終学年を含め、2学年以上を継続して在籍した者、または在籍予定の者^{注3}
5. 次の(a)(b)(c)いずれかの要件を満たす者^{注4}
 - (a) TOEFL-iBTのスコアが72以上の者
 - (b) TOEIC L&R / TOEIC S&Wのスコアが1560以上（ただし、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にしてL&Rのスコアと合算）の者
 - (c) 国際バカロレア資格を取得見込みの者
6. 日本国外所在の中等教育機関において、日本の高等学校に相当する期間に、物理・化学・生物・地学等の理科に関する科目の成績が著しく優秀であったことが示される者^{注5}、または、理科についてそれと同等の成果を有する者

注1：出願にあたっては、国外で在籍していた中等教育機関の学校長からの推薦状の提出が必要です。ただし、学校長からの推薦状の提出が難しい場合には、出願前に所沢総合事務センター人間科学部入試担当までお問い合わせください。

注2：各国の教育制度上、中等教育の最終学年が12年生（Year 12）に満たない場合は、個別の出願資格審査を実施し、日本の大学入学資格を満たしているか審査します。なお、個別の出願資格審査を伴う出願者は、入学時点で満18歳に達している必要があります。

個別の出願資格審査を申請する場合は、所沢総合事務センター人間科学部入試担当までお問い合わせください。個別の出願資格審査の判定には時間を要するため、別途入試要項で案内する指定期日以降の問い合わせには対応しません。また、申請内容によっては出願を認めない場合があります。

注3：文部科学省の認める在外教育施設（日本の高等学校に相当する）については、出願資格Aに該当します。

注4：入学日（2022年4月1日）から遡って2年以内に受験したスコア、結果を有効とします。

注5：日本の調査書に相当する、成績を証明する書類の提出を必須とします。その際、カリキュラムおよび「理科に関する科目」の授業内容等を補足的に説明する根拠資料（例：授業で扱う範囲や単位数が記載されているシラバスなど）を必ず提出してください。

以上

所沢総合事務センター人間科学部入試担当

Tel: 04-2947-6855

E-mail: admission19@list.waseda.jp